

様式コード
2 2 0 2

健康保険 被扶養者(異動)届

常務理事	事務長	課長	係長	係

令和 年 月 日提出

事業主記入欄	事業所記号			
	届出記入の個人番号(基礎年金番号)に誤りがないことを確認しました。			
	事業所在地	〒		
	事業所名称			
	事業主氏名			
電話番号	()			
事業主等受付年月日	令和	年	月	日

厚生年金被保険者の配偶者(20歳～60歳)にかかる届出の記載がある場合、同時に『国民年金第3号被保険者関係届』(同ファイル内にある「第3号届」)もご提出ください。

受付日付印

社会保険労務士記載欄

氏名等

A 被保険者欄	① 被保険者整理番号	② 氏名 (フリガナ) (氏名)	③ 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年 月 日	④ 性別	1. 男 2. 女
	⑥ 取得年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年 月 日	⑦ 収入(年収)		⑧ 住所	〒
	⑧ 住所	〒					
	⑨ 収入(年収)	円					

被扶養者になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、変更の場合は「変更」を○で囲んでください。
被扶養者の「該当」と「非該当(変更)」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の用紙で提出してください。

B 配偶者である被扶養者欄	⑨ 第3号被保険者に関し、この届書記載のとおり届出します。	令和	年	月	日	⑩ 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年 月 日	⑪ 続柄	1. 夫 3. 夫(未婚) 2. 妻 4. 妻(未婚)	
	⑫ 氏名 (フリガナ) (氏名)										
	⑬ 住所	1. 同居 2. 別居	⑭ 住民票 ⑮ 居所	〒							
	⑯ 1. 該当 2. 非該当 3. 変更	被扶養者(第3号被保険者)になった日	9. 令和	年 月 日	⑰ 理由	1. 配偶者の就職 2. 婚姻 3. 離婚 4. 収入減少 5. その他 ()	⑱ 職業	1. 無職 2. パート () 3. 年金受給者 4. その他 ()	⑲ 収入(年収)	円	
	⑳ 1. 該当 2. 非該当 3. 変更	被扶養者(第3号被保険者)でなくなった日	9. 令和	年 月 日	㉑ 理由	1. 死亡(令和 年 月 日) 2. 離婚 3. 就職・収入増加 4. 75歳到達 5. 障害認定 () 6. その他 ()	㉒ 資格確認書(被保険者証)回収区分	1. 添付 2. 返不能 3. 減失			
	㉓ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当	海外特例要件に該当した日	9. 令和	年 月 日	㉔ 理由	1. 留学 2. 同行家族 3. 特定活動 4. 海外婚姻 5. その他 ()	㉕ 資格確認書発行要否	□ 発行が必要(短期・長期) 表面④を必ずご確認ください。			
	㉖ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当	海外特例要件に該当した日	9. 令和	年 月 日	㉗ 理由	1. 国内転入(令和 年 月 日) 2. その他 ()	㉘ 備考				
	③⑩ 被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。										
	配偶者の収入(年収) 円										

C その他の被扶養者欄1	③① 氏名 (フリガナ) (氏名)	③② 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年 月 日	③③ 性別	1. 男 2. 女	③④ 続柄	長女			
	③⑤ 住所	1. 同居 2. 別居	③⑥ 住民票 ③⑦ 居所	〒							
	③⑧ 1. 該当 2. 非該当 3. 変更	被扶養者になった日	9. 令和	年 月 日	③⑨ 理由	1. 無職 2. パート 3. 年金受給者 4. 小・中学生以下 5. 高・大学生 (年生) 6. その他 ()	③⑩ 収入(年収)	円	③⑪ 理由	1. 出生 2. 離婚 3. 収入減 4. 同居 5. その他 ()	
	③⑫ 1. 該当 2. 非該当 3. 変更	被扶養者でなくなった日	9. 令和	年 月 日	③⑬ 理由	1. 死亡 2. 就職 3. 収入増加 4. 75歳到達 5. 障害認定 6. その他 ()	③⑭ 資格確認書(被保険者証)回収区分	1. 添付 2. 返不能 3. 減失			
	③⑮ 資格確認書発行要否	□ 発行が必要(短期・長期) 表面④を必ずご確認ください。									
	③⑯ 備考										
	③⑰ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										
	③⑱ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										
	③⑲ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										
	③⑳ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										

C その他の被扶養者欄2	③① 氏名 (フリガナ) (氏名)	③② 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年 月 日	③③ 性別	1. 男 2. 女	③④ 続柄				
	③⑤ 住所	1. 同居 2. 別居	③⑥ 住民票 ③⑦ 居所	〒							
	③⑧ 1. 該当 2. 非該当 3. 変更	被扶養者になった日	9. 令和	年 月 日	③⑨ 理由	1. 無職 2. パート 3. 年金受給者 4. 小・中学生以下 5. 高・大学生 (年生) 6. その他 ()	③⑩ 収入(年収)	円	③⑪ 理由	1. 出生 2. 離婚 3. 収入減 4. 同居 5. その他 ()	
	③⑫ 1. 該当 2. 非該当 3. 変更	被扶養者でなくなった日	9. 令和	年 月 日	③⑬ 理由	1. 死亡 2. 就職 3. 収入増加 4. 75歳到達 5. 障害認定 6. その他 ()	③⑭ 資格確認書(被保険者証)回収区分	1. 添付 2. 返不能 3. 減失			
	③⑮ 資格確認書発行要否	□ 発行が必要(短期・長期) 表面④を必ずご確認ください。									
	③⑯ 備考										
	③⑰ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										
	③⑱ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										
	③⑲ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										
	③⑳ 1. 海外特例要件該当 2. 海外特例要件非該当										

記入方法

○被保険者欄

- ①被保険者整理番号 : 資格取得時に払い出しされた被保険者整理番号をご記入ください。
- ②氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名をご記入ください。フリガナはカタカナで正確にご記入ください。
- ③生年月日 : 年号は該当するものを○で囲んでください。
- ④性別 : 該当するものを○で囲んでください。
- ⑤個人番号
(基礎年金番号) : 本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。基礎年金番号を記入する場合は、年金手帳等に記載されている10桁の番号を左詰めでご記入ください。(個人番号を記入した場合は、基礎年金番号の記入は不要です)
- ⑦年収 : 被保険者の今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。
- ⑧住所 : 住民票の住所または居所をご記入ください。

○被扶養者欄

- ⑩被扶養者でない配偶者の
年収見込額 : 配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。
これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。
- ⑪⑫氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名をご記入ください。フリガナはカタカナで正確にご記入ください。
- ⑪⑬続柄 : 被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「子」、「父」、「母」等と記入してください。「同居人」は認定できません。
- ⑫⑭個人番号、基礎年金番号 : 本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。個人番号を記入した場合は、基礎年金番号は不要です。
ただし、個人番号を記入できない時は、基礎年金番号の記入が必要です。その場合、後日個人番号の提出が必要となります。
- ⑮⑯住所 : 被保険者と同居または別居のいずれかを○で囲み、同居の場合は住所記入は不要です。別居の場合は、住所欄に住民票の住所および居所をご記入ください。住民票住所と居所が同じ場合は居所の記入は不要です。なお、海外居住者については、国内における協力者住所（親族、被保険者の勤務先住所等）を方書きも含めてご記入の上、「備考」欄に海外居住先の住所及び国内協力者が親族の場合は、氏名及び続柄をご記入ください。
- ⑰⑱被扶養者になった日 : 被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日をご記入ください。
- ⑲⑳年収 : 今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含まれます。
非課税対象の収入がある場合は、受取金額が確認できる書類のコピーを添付の上、「被扶養者現況届」に具体的な内容をご記入ください。
- ㉑㉒理由 : 被扶養者となった理由を○で囲んでください。ただし、「被保険者資格取得届」と同時に提出する場合は記入不要です。
- ㉓㉔被扶養者でなくなった日 : 死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。
- ㉓㉕理由 : 被扶養者でなくなった理由を○で囲んでください。
- ・海外特例要件
(㉔～㉗、㉚～㉝) : 海外特例要件該当・非該当のいずれかを○で囲み、理由をご記入ください。海外特例要件非該当で国内転入の場合は転入した日をご記入ください。

㉘㉙「資格確認書の発行要否」について

- ※1 資格確認書は、以下のいずれかに該当する方に限り発行いたします。発行が必要な場合は、「資格確認書発行要否」の□に✓を付してください。
1. マイナンバーカードを取得していない者、マイナンバーカードの返納者
 2. マイナンバーカードを保有しているが健康保険証利用登録を行っていない者、利用登録解除を申請した者、利用登録解除者
 3. マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの者
- 当組合では、**2種類の有効期限を設けております。**
今後の手続き状況によって、「**短期（交付日から3ヶ月）**」または「**長期（令和10年11月30日まで）**」を選択してください。
- ※2 **紛失や更新のため手続き中の場合は、「短期」を選択してください。**
なお、有効期限が切れた資格確認書は回収不要となりますが、有効期限内に資格喪失する場合は回収が必要となりますのでご注意ください。

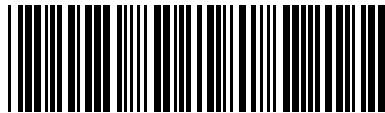
添付書類

- 被扶養者現況届
- 退職者生計維持調査票（認定日から過去1年以内に退職した者）
- 世帯全員の住民票（続柄・在留資格省略不可）
- 上記書類以外に、健保組合が必要と判断する各種証明書等

様式コード			
4	3	0	0

国民年金

第3号被保険者関係届



令和 年 月 日提出

提出者情報	事業所所在地	届出記入の個人番号(基礎年金番号)に誤りがないことを確認しました。		日本年金機構
	事業所名称			
	事業主氏名			
	電話番号	()		
事業主等 受付年月日		令和 年 月 日		

社会保険労務士記載欄
氏名等

A. (第2号被保険者) 配偶者欄	①	(フリガナ)	②	生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年	月	日	③	性別	1. 男性 2. 女性
	氏名		④	個人番号 (基礎年金番号)							
	⑤	〒	住所								

届出内容に応じて、該当・非該当(変更)のいずれかを○で囲み、記入してください。

B. 第3号被保険者欄	①	この届書記載のとおり届出します。 令和 年 月 日 日本年金機構理事長 殿 (フリガナ) (氏名) ※届書の提出は配偶者(第2号被保険者)に委任します ☐				②	生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和	年	月	日	③	性別 (続柄)	1. 夫 3. 夫(未届) 2. 妻 4. 妻(未届)	
	④	個人番号													
	⑤	基礎年金番号													
	⑥	外国籍		⑦	外国人 通称名	(フリガナ)									
	⑦	住所	1. 同居 2. 別居 ※同居の場合も住民票の住所を記入してください。 ※海外居住者は国内協力者住所を記入してください。なお、協力者が親族の場合は協力者氏名及び続柄を⑭備考に 記入してください。	〒								⑧	電話番号	1. 自宅 2. 携帯 3. 勤務先 4. その他 ()	
	⑨	第3号被保険者 になった日	7. 平成 9. 令和	年	月	日	⑩	理由	1. 配偶者の就職 4. 収入減少 2. 婚姻 5. その他 3. 離職 ()				⑭	備考	
	⑪	配偶者の 加入制度	31. 厚生年金保険・健康保険												
	⑫	第3号被保険者 でなくなった日	7. 平成 9. 令和	年	月	日	⑬	理由	1. 死亡(令和 年 月 日) 2. 離婚 3. 収入増加 6. その他()						
	⑮	1. 海外特例 要件該当	海外特例要件に 該当した日	9. 令和	年	月	日	⑯	理由	1. 留学 4. 海外婚姻 2. 同行家族 5. その他() 3. 特定活動					
	⑰	2. 海外特例 要件非該当	海外特例要件に 非該当となった日	9. 令和	年	月	日	⑱	理由	1. 国内転入(令和 年 月 日) 2. その他()					

医療保険者記入欄	組合(保険者)番号	06110704	
	上記のとおり第3号被保険者関係届の届出がありましたので提出します。		
	届出記載の第3号被保険者は、健康保険組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。		
	認定年月日 令和 年 月 日 (「⑨第3号被保険者になった日」と同じ場合は、記載の必要はありません)		
	所在地	〒	
	名称		
代表者 等氏名	(印)		
電話	()		